

今までの経験と実績を活かして、地域のために献身的に取り組みます

# 「久田よしあき」が目指す5つの柱

——市民が主役・市民協働の街づくりを推進します——



## 1 教育 明日を担う子どもたちの夢と希望を叶えるために

- 義務教育にかかる、個人負担費用の低減に取り組みます。
- 高等学校の授業料無償化に向けて提言し、努力して行きます。
- 学校施設や教材を充実して行きます。

## 2 福祉 みなさんが安心して暮らせる知立にするために

- 高齢化社会に向けて、「介護保険」や「高齢者医療」の充実に取り組みます。
- 障害のある人たちが、安心して豊かに暮らせる知立をつくります。
- 学童保育と放課後子ども教室を一元的に管理運営し、子どもたちが安全、安心して過ごせる居場所づくりに努力して行きます。
- 生きがいセンターの充実を図り、また土曜日、日曜日の開放に努めて行きます。

## 3 産業 知立の産業をさらに発展させるために

- 地産、地消を活かした豊かな街づくりを推進します。
- 市発注の工事は、地元業者に優先するしくみをつくり、地域経済の活性化を推進します。
- ポテンシャルの高い知立の振興をめざして、知立駅周辺整備事業を活かした近隣都市の核となる街づくりに努めます。

## 4 防災 災害につよい街づくりのために

- 東海大地震に備えて、施設や住宅の耐震補強補助、リフォーム補助の拡充に取り組みます。
- 防災用の器具備品や応急物資を充実して行きます。
- 社会的生活弱者（高齢者、障害者）に対して、温かい手を差しのべる施策を推進して行きます。

## 5 財政 限りある財源で、魅力ある知立にするために

- 市の行財政を見直し「ムダを排除する」など、各事業の仕分けに取り組み、財源確保に努めて行きます。